

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第41号

令和2年11月12日

活動報告

令和2年10月1日～31日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・部屋の片づけ：1件 ゴミ出し：2件
- ・生活相談：2件 蛍光灯交換：1件
- ・粗大ごみの搬出：1件

小計 7件

認定事業

- ・見守り(高齢者) ・登下校の見守り(児童)
- ・ふれあい給食(配食)：10月6日 ・子育て広場：10月7日
- ・ふれあいサロン：10月9日、10月28日
- ・子ども食堂：10月20日(お弁当)、10月29日(フードパント)

合計 15件

第5回研修会「人にやさしい地域づくりとは」 ～大人も子ども共に育ち合う地域づくりを目指して～

日時：令和2年10月21日(水)

場所：東志賀コミュニティセンター

講師：なごや子ども応援委員会北ブロック

椿 晃江さん(スクールソーシャルワーカー)

参加人数：29名

講演報告：

少子高齢社会の中で、子どもやその家族が抱える生活上の問題解消を下支えすることも重要です。学校を拠点に多くの方々子どもたちを支えているのを知り、地域の私たちに何ができるかを考えるために今回の企画をしました。

北ブロックなごや子ども応援委員会は北陵中学校に事務局を置き、さまざまな悩みや心配を抱える子どもや親に寄り添い他の専門職の方々と一緒に支援、活動されています。

東志賀学区は他の学区と比べると比較的落ち着いていますが、それゆえに問題が埋もれてしまいがちです。コンビニからの通報で不審な行動を知る事があるとのこと。地域の皆さんも協力し、大人も子どもも垣根なく繋がり、育み合うようにしていくために、今の子どもの親たちを育ててきた私たち世代の努めを考え、行動していきたいと思います。



なごや子ども応援委員会スタッフ

スクールカウンセラー(SC) <ul style="list-style-type: none"> 心理の専門的知識・経験を活かし、心理教育等の観点に基づいた学校生活全般への援助 児童生徒、保護者、教職員への相談対応 未然防止の授業 	スクールソーシャルワーカー(SSW) <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉の専門的知識・経験を活かし、児童生徒が置かれた環境への働きかけ 関係機関(区役所・児相・地域役員等)との連携
総合援助職(HP) <ul style="list-style-type: none"> 子ども・保護者等の相談対応や、関係機関との連携・情報共有をはじめ、生物・心理・社会面から総合的に子どもを応援・援助します。 	
スクールポリス(SP) <ul style="list-style-type: none"> 学校内外の見守り活動 警察との連携 	スクールアドバイザー(SA) <ul style="list-style-type: none"> 学校に対する外部からの意見・要望への対応 地域との連絡調整

大切にしていること

- ◆子どもの利益を最優先する
- ◆ひとりひとりの子どもを尊重する
- ◆問題点よりも可能性に焦点を当てる
- ◆子どもが物事を主体的に決定・行動できるようサポートする
- ◆子どもの学習権を保障する

本当はどうしたいのか？
どんな自分になりたいか？
知りたい！学びたい！

講演資料より

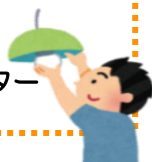
ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



フレンドリークラブ参加者募集中

健康づくり、なかまづくり始めませんか

※ 隔週木曜日 13:45～15:45

※ 場所：東志賀コミュニティセンター

※ 対象：市内在住65歳以上の方

☎ 915-7435 (9時～17時)

北区社会福祉協議会 杉山・松尾

ボラさんも募集中



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第42号

令和2年12月11日

活動報告

令和2年11月1日～30日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・庭の枝切り：2件
- ・粗大ごみの搬出：1件
- ・病院の付き添い：1件
- ・ゴミ出し：3件

認定事業

- ・見守り(高齢者)
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子育て広場：11月4日
- ・ふれあいサロン：11月13日、11月25日
- ・子ども食堂：11月27日、11月29日(フードパントリー)

小計7件

合計14件

「ボランティア交流会」が開催されました

日時：令和2年11月20日(金)

場所：東志賀コミュニティセンター

内容：事例報告及びこれからの活動について

参加人数：27名

住み慣れた地域でいつまでも皆で暮らしていく為に、どのように助け合っていけるかという問題を様々な意見を出し合いながら交流しました。「一人暮らしの看取り」の事例報告をお聞きして、意見交換しました。

3年前がんの手術をされ、一人暮らしをされていた方が2年前に学区内に転居されて来ました。ある日、ささえあいの窓口に相談に来られ、カフェサロンにも参加され、粗大ゴミの搬出も依頼されたりして、次第にボランティアの方とも気軽にお話をされていました。その方が今年の5月頃、体調不良になり、病院の診察の付き添いを依頼されました。医師からこれ以上の通院は難しいと言われ、訪問診察と看護に切り替えることになりました。ささえあい事業としてはここまでの対応と考へ、それ以上は行政に委ねるつもりでした。

しかし本人から今までのようにずっと見守ってほしいとの意思が伝えられましたので、その願いを尊重する事にしました。ケアマネジャーと相談しながら、地域の民生委員と一緒に日々の様子を見守りました。本人の最期まで自宅で過ごしたいという強い希望に応えるため、ケアマネジャー、医師、看護婦、行政の方々と共に、情報を共有し協力・連携することができました。地域包括ケアシステムのあるべき姿に少しでも近づけたのではないかと思います。

交流会参加者からは報告を聞いて、最期まで看取る事への不安な気持ちに共感が寄せられました。同時に、様々な意見が交わされました。

最後に支えあい活動の中で「何が大事ですか」とケアマネジャーにお聞きした所、「信頼関係を築く事が重要で、今回のケースはそれがうまくいったのでは」と評価を頂きました。

皆で助け合える地域の実現、日常の何気ない事からの支えあいの積み重ねで、地道に信頼関係を作っていく大切さを実感しました。



ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後1時30分～3時30分

場所：東志賀コミュニティセンター

参加費 無料

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第43号

令和3年1月10日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和2年12月1日～31日

生活支援事業

- ・庭の枝切り：3件
- ・襖の張替え：1件
- ・買い物支援：1件
- ・ゴミ出し：3件
- ・配膳支援：1件
- ・蛍光灯交換：1件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 6件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・ふれあいサロン：12月11日、12月23日
- ・子ども食堂：12月24日(フードパントリー)、12月28日

小計 10件

合計 21件



あけましておめでとうございます

コロナ禍に揺れた令和2年は活動を自粛した一年でしたが、まず出来る事からやっていきたいと、コロナ対策を実施し初夏頃から徐々に活動を再開しました。「支えあい」がこのような災いの時こそ必要だからです。

- 「カフェサロンひがし志賀」では密を避けるため人と人との距離を取り、パーティションを設置し、1時間に短縮して開催しました。飲み物もコーヒーから紙パックに変更し、大勢のイベントを避け、少人数での気軽で楽しいふれあいや語り合いという、交流を重視する姿勢で開催しました。その中で4月に引っ越しされてきた方が、地域の事が分からず、サロンの案内を見て、情報と知り合える人を求めて参加されて来ました。少しでも困っている人の助けになったのではと思いました。
- 一人暮らし支援「ふれあい給食」は10月と12月に配食弁当を民生委員が分担して配り喜ばれました。
- 「子ども食堂」は子どもから大人までが利用され、手作り弁当・フードパントリー(食料の無料配布活動)等いろいろ工夫して再開されました。

今年も感染防止をしながら新しい試みに挑戦して、困っている人と支えたい人たちとを繋げる機会を提供し誰でもが暮らしやすい地域づくりを目指したいと思います。



カフェサロンの様子
(ビニールパーティション)



子ども食堂 手作りお弁当

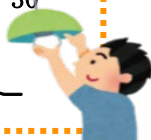
ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後1時30分～3時30分

場所：東志賀コミュニティセンター

参加費 無料

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第44号

令和3年2月12日

活動報告

令和3年1月6日～31日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・電球交換 : 1件
- ・水道パッキング交換 : 1件

小計 4件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 6件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂 : 1月19日、29日(フードパントリー)、

1月20日

合計 14件

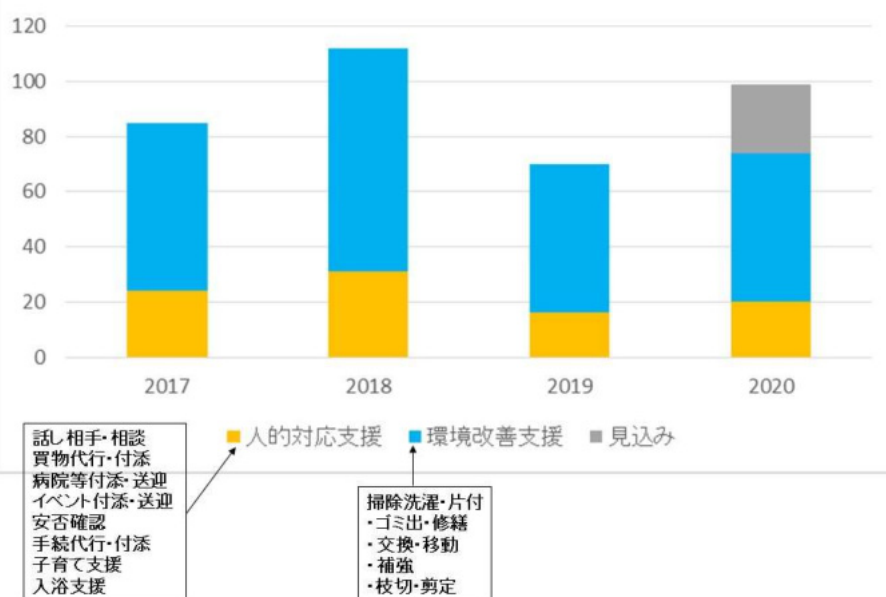
東志賀学区地域支えあい事業に関与されている方々に、ご意見や思いを書いていただこうと、この度は開始当時からボランティアに登録し活動されているGTさんをお願いしました。

支えあい事業が始められて4年が過ぎ、コロナ禍に見舞われて自粛せざるを得ない状況で、支援事業がどれ

程なされているかが気になりお聞きした所、グラフのような情報をいただきました。当初年度は80件程ですが2018年度は120件に迫る実績があったようです。翌19年度は70件程で若干少なめですが本年度は暮れにすでに前年度を超え、18年度に迫る実績を上げているようです。多くの方々が困難な生活を強いられているからこそ支援が必要であり、「マスクを作って差し上げたい」に代表されるよう、誰かを助けてあげたいと思う方々が増えてきていると思います。輪を拡げていく好機とも考えています。

(GT: 黒川東在住)

年度別支援事業件数



ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後1時30分～3時30分

場所: 東志賀コミュニティセンター

参加費 無料

連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田



*カフェサロンひがし志賀: 第2金曜日 第4水曜日開催・10時～11時 緊急事態宣言の時は中止です。

「ともに暮らす東志賀」

さ さ え あ い た よ り 第45号

令和3年3月12日

活動報告

令和3年2月1日～28日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・蛍光灯の交換 : 1件
- ・水漏れ修理 : 2件
- ・生活相談 : 1件
- ・時計修理 : 1件
- ・不法投棄の処理 : 1件

小計 8件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 4件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂 : 2月25日, 28日(フードパントリー)

合計 15件

新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言が、一週間前倒しで2月末をもって解除となりました。日常生活に様々な制限を余儀なくされた大変重要な対策でありましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ワクチンの国内接種計画の情報も聞かれるようになりましたので、少しは明るい光が遠くに見えてきたように思います。しかし、油断は禁物で今まで頑張ってきた感染防止対策は引き続き徹底して感染防止に努めて頂きますようお願いいたします。

コロナ禍の中で、毎週水曜日と金曜日の午前中に、コミセンで皆様の困りごと相談を受けてきました。2月は件数こそ少なかったが、待たなしの急を要する相談もあり、地域支えあい事業として少しはお役に立てたかと思っております。

コロナの感染防止に気を使い、もしかして相談窓口への電話をかけそびれ、不自由な生活をしておられることを大変心配しております。ご遠慮なくお電話をお待ちしております。「高齢の方がデジタルの目覚まし時計の不具合があり、困っていたが、こんなこともいいですか」と聞かれました。簡単にすぐ直して届けましたがとても喜んで頂きました。困りごとには大きい小さいはありませんので、よろしく願いいたします。

広辞苑で「支える」を引いてみると、「①物をおさえとめて、落ちたり倒れたりしないようにする②持ちこたえる、維持する」とありました。高齢化が進み今までできていたことができなくなり、無理をして体を痛めてしまい、なかなか治らないという方のお話をよく聞きます。地域支えあい事業はまさに、落ちたり倒れたりしないように「支える」究極の支えあい事業だと思っております。間もなく新年度が始まり、秋には開設5年になります。これからも少しお元気な方がボランティアの皆様とともに、もっともっと多くの皆様が支えあえる東志賀学区にしていきたいと思っております。(支えあいコーディネーター：EY)

ちょっとした困りごとは相談窓口！

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

相談窓口：東志賀コミュニティセンター

☎ 080-3651-7435 相談窓口：



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後1時30分～3時30分

場所：東志賀コミュニティセンター

参加費 無料



カフェサロンひがし志賀

2金曜日 第4水曜日 10時～11時

場所：東志賀コミュニティセンター

3月24日(水) 4月9日(金)

新型コロナウイルス感染のため中止になることもあります。



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第46号

令和3年4月16日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和3年3月1日～31日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・粗大ごみ搬出の手伝い : 1件
- ・鏡の取り付け : 1件
- ・デジタル時計の調整 : 1件
- ・電球交換 : 1件
- ・水道パッキング交換 : 1件
- ・留守電コールの修正 : 1件
- ・車椅子からベットへの移動補助 : 2件

小計 10件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 5件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂: 3月29日, 19日, 31日(フードパントリー)
- ・ふれあいサロン: 3月24日

合計 20件

中学校から朝の登校時見守りを依頼され4月から開始します。皆さんも小中学校の生徒を見かけたら声をかけてください。またラジオ体操のときに相談を受け、電球や水道パッキングの交換をしました。困りごとがありましたら気軽に声をかけることを心がけましょう。

地域の人々が共に支え合って暮らしていける環境づくりのために、日頃の交流が大切です。去年は中止になりましたが、今年は皆さんの作品展示という形に変えて3月14日に「**コミセン祭り**」を開きました。1階の和室に、「名古屋400年の歴史」の映像を用意して、2階にある展示会場に、人が密集しないよう工夫しました。

天気にも恵まれ、約100名の方が来場されました。女性の会、フレンドリークラブ、トワイライト児童、幼児教室クレヨン、また個人の方からも作品を出して頂きました。皆さん、自粛期間中に手作りされたものばかりで「展示できて嬉しかった。来年も出したい」という声も聞こえて来ました。

今回は日頃の地域活動を知ってもらうために、各種団体の制服、ユニフォームも展示しました。会場では消防団募集コーナーを設けて来場者にアピールしました。これからは各種団体の啓発展示や若い人への勧誘活動も行いたいと思います。

去年は、コロナ禍のため、学区の行事がほぼ中止になる中、多くの方が作品を出され、来場されたことに感謝申し上げます。学区として貴重な取り組みになったと思います。



ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時～4時

場所: 東志賀コミュニティセンター

参加費 無料





「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第47号

令和3年5月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和3年4月1日～30日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・電球の交換 : 1件
- ・ベットの組み立て : 1件
- ・コロナワクチン接種の相談 : 1件
- ・コロナワクチン接種予約の手伝い : 1件

小計 6件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 6件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂: 4月22日(食堂), 19日・29日(フードパントリー)
- ・ふれあいサロン: 4月9日・28日

合計 18件

利用者の声

コロナワクチン接種のクーポン券が来ましたが、スマートフォンを持っていたけど、どう予約したらいいかわからないので、前日の町内サロンで「お手伝いしますよ」といわれたので会長さんに連絡したら、快く予約をして頂き安心しました。

ボランティアの声

一人暮らしの高齢者の方はコロナワクチン接種のクーポン券が来てもスマートフォンを持っていない方もおり、また電話も通じず困った方が周りにたくさんおりました。情報もなく不安な気持ちでおられましたが、情報を伝え、6月までの予約ができなかった方に、再開が始まったら連絡して、一緒に予約しましょうと伝えたら、安心されました。

コーディネーター：後記

4月中旬からコロナワクチン接種のクーポン券が届き、一人暮らしの高齢者が困っている状況でした。情報が錯そうし混乱を抱いている方に、こちらから声をかけて相談に乗りました。周りの方が困っている人を見つける方法を考えていかなければいけません。

孤立を防ぐために集まらなくてもできることを考えていきたいです。良いお知恵がありましたら、教えてください。また相談窓口気軽にしゃべりに来てください。お待ちしております。



なごや新型コロナワクチン集団接種予約サイト

ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも



第2金曜日 午後2時～4時

場所：東志賀コミュニティセンター 参加費 無料

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田

(新型コロナウイルス対応の為中止になる事もあります)





「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第48号

令和3年6月11日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和3年5月1日～31日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 3件・枝切り : 2件・杖の修理 : 1件
 - ・粗大ごみ、不燃ごみの搬出 : 1件
 - ・コロナワクチン接種会場への付き添い : 1件
 - ・公園のカラス対策 : 1件
- 小計 9件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 6件・登下校の見守り(児童)
 - ・子ども食堂 : 5月4日(配食), 27日(食堂)
- 19日・29日(フードパントリー)

小計 11件

合計 20件

利用者の声

高齢になり、以前の様に自宅玄関横にある一本の木を切ることが出来なくなり困っていました。支え合い事業に連絡してお願いしましたら、きれいにして頂きありがとうございました。



ボランティアの声

隣の方が、不自由な足で枝を切っているのを見て、支え合い事業にお願いしたらと思い、コーディネーターの方に電話をしました。同じ町内会、ご近所の方にもお手伝いしてもらい作業しましたが、近所のつながりを感じました。お隣の方からは「助かりました」と何度もお礼を言われました。



コーディネーター：後記

常日頃のお付き合いの中、高齢者宅のご近所の方が心配して、今回の枝切りを依頼し活動に結び付きました。ご近所のお付き合いが薄れる中、顔の見える町内会の輪が広がっていくとよいと思います。

コロナワクチン接種で予約が取れない、会場まで付き添って欲しいなど、お困りの方は相談窓口または、コーディネーターにご相談ください。私たちの助け合いの中で支援の手が差し伸べられるよう努力していきたいです。

ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時～4時

場所：東志賀コミュニティセンター 参加費 無料

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田

(新型コロナウイルス対応の為中止になる事もあります)



カフェサロンひがし志賀:6月23日(水)、7月9日(金)、28日(水) 非常事態宣言の時は中止します。



「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第49号

令和3年7月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和3年6月1日～30日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 3件
- ・粗大ゴミ搬出 : 2件
- ・枝切り : 3件
- ・網戸修理 : 2件
- ・クーラー、テレビの修理 : 1件
- ・食器棚修理 : 1件
- ・買い物支援 : 1件
- ・生活相談 : 1件
- ・話し相手 : 1件
- ・コロナワクチン接種予約の手伝い : 1件

小計 17 件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 7件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂 : 19日, 29日(フードパントリー) 25日(食堂)
- ・ふれあい給食 : 1日(配食)
- ・ふれあいサロン : 23日

小計 11 件

合計 28 件

利用者の声

自粛生活で家にいる時間が増え、粗大ゴミがたくさん出ました、重たいものなどを出すのに困っていましたら、支えあい事業でやってもらえると聞いて、依頼しました。助かりました。

ボランティアの声

粗大ゴミ納付券の確認などをして、指定時間までに三人ほどで対応しました。まだ出し方がわからなく困っている方がいると思いますので、連絡をお待ちしています。

コーディネーター：後記

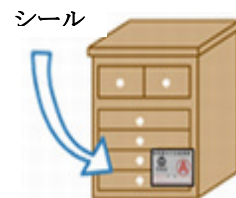
生活の周辺を綺麗に保つことは大切ですが、現代社会から出るゴミの量を減らし汚染から地球環境を守ることも世界的な課題になっています。お年寄りのゴミ出しをただお手伝いするだけではなく、今までの生活のなかで大切にしていたものを失いたくないという気持ちと、自分が生きている間に綺麗にしたいという「断捨離」の気持ちの葛藤が依頼者にあり、それに寄り添うことを心がけたいと思います。またコロナ禍の不安から見守りの依頼も増えてきました。皆さんの地域の中で困っている方を見かけましたら、ご連絡ください。これからも地域で「誰もおきざりにしない」ようにしていきたいです。

粗大ゴミ(有料)の出し方 申し込み方法

- ・第3水曜日(一部国道41号から西は 第2水曜日)
- ・納付券(シール)を買ってゴミの見やすいところに貼る。

☎:0120-753-530 (携帯電話から 052-950-2581 有料)

電話は(収集日の7日前までに) 午前9時～午後5時



ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時～4時

場所：東志賀コミュニティセンター 参加費 無料

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田

(新型コロナウイルス対応の為中止になる事もあります)



カフェサロンひがし志賀:7月28日(水) 密を避けながらおしゃべりをして過ごしてみませんか?

(非常事態宣言の時は中止します)

お待ちしております





「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第50号

令和3年8月3日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和3年7月1日～31日

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 2件
- ・粗大ごみ搬出 : 2件
- ・枝切り : 1件
- ・網戸修理 : 1件
- ・クーラー修理依頼のお手伝い : 2件
- ・話し相手 : 1件
- ・病院の付き添い : 2件
- ・部屋の片づけ : 1件

小計 13件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 7件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子ども食堂 : 29日(フードパントリー) 30日(食堂)
- ・ふれあいサロン : 9日 28日
- ・子育て広場 : 6日

小計 12件

合計 26件

利用者の声：話をして穏やかになった妻

妻が少し認知症になりストレスが溜まっているので話し相手が欲しいと思っていましたら、町内会長さんが「相談窓口にご相談してみたら」と言われたので相談しました。コミセンに行って話して帰ってくると穏やかになっているように思います。ありがとうございます



ボランティアの声：お互いに距離を保つことも大事

認知症の奥様の話し相手になってほしいとご主人様が相談に見えたそうです。その当日、私も同席させて頂きました。30～40分お話しをお聞きしていたら、ご主人様が「妻が落ち着いてきたので、帰ります。」と笑顔でおっしゃり、仲良く帰宅されました。ご主人様のホットされた顔がとても印象的でした。介護する側、される側の幸福な関係を保つことは、両方がいつときでも距離を取るのだと思っています。ご主人様の顔からほんの少しの間でも、お役に立てたのかしら？と思っております

コーディネーター後記：気楽に話し合える場を

老若男女を問わず誰でもが話し相手が欲しい時があります。核家族化に加え少高齢化も加速している状況で、孤立する人々が増えていることを実感する毎日です。ちょっとしたおしゃべりや悩み事を気楽に語り合える場が、日常のいたるところでできることを願っています。



(オレンジリボン認知症サポーターの証です)

ちょっとした困りごとは相談窓口へ

お電話でも受け付けいたします

開設日時：毎週水・金曜日 9:30～12:30

☎ 080-3651-7435

相談窓口：東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも



第2金曜日 午後2時～4時

場所：東志賀コミュニティセンター 参加費 無料

連絡先：☎ 090-3587-2270 駒田

(新型コロナウイルス対応の為中止になる事もあります)

